

4-7

利用者様の落ち着いた生活のための取り組み

認知症高齢者に合わせた生活

認知症

落ち着いた生活

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム フェローホームズ

フロアーマネージャー・渡部 伸子

ケアワーカー・石橋 ひとみ

東京都立川市富士見町2丁目36番43号

他フロアースタッフ

TEL 042-523-7601

E-mail fellow@blu.m-net.ne.jp

FAX 042-523-7605

URL http://www.ebisukai.com

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

社会福祉法人恵比寿会を母体とする特別養護老人ホームフェローホームズは「家族」をキーワードに平成4年4月に開設いたしました。立川の昭和記念公園の前にあり、緑豊かな駅からも徒歩でこられる場所にある非常に明るい施設です。

〈取り組んだ課題〉

- ・利用者様の生活の質を上げる取り組みを行った。
- ・より良い生活を目指し、各フロアで様々な改革を行った。（今回は認知症のフロアでの実践事例を発表する）

〈具体的な取り組み〉

- ・利用者様の生活の質の向上を目指し、グループリビングの導入を検討した。
- ・グループリビング導入決定後、協議の結果、フロアをレベルわけすることにした。
- ・居室移動後、認知症フロアのケアワーカーとして専門的に認知症に関する様々な取り組みを行った。
 - ・勤務体制の変更
 - ・スケジュールの見直し
 - ・アクティビティの実施
 - ・担当制の変更
 - ・介助方法の見直し・改善
 - ・スタッフの教育
 - ・他職種とのさらに密な連携の構築
 - ・コミュニケーション
 - ・ハード面の問題の改善 等
- ・個別ケアに取り組んだ。
- ・定期的にフロアスタッフで話し合い、現状の理解と把握、検討課題に対する意見交換を行った。
- ・話し合いの結果、出来ることは早急に取り組んでいった。
- ・ご家族との協力体制を築いていった。
- ・「ゆとり」をもてるように取り組みを行った。

〈活動の成果と評価〉

- ・利用者様の中に以前より格段に落ち着きが見られた方が居られる。
- ・逆に、明らかに以前より落ち着かなくなった利用者様がいた。その方に対し、様々な創意工夫したケアを提供したがあまり改善が見られなかった。
- ・スタッフの専門性が上がり、ケアの質の向上につながった。また、スタッフの意識の変化にもつながった。
- ・ルーティンワークが多くなり、寄り添うケア、「ゆとり」があまりもてなかった。
- ・スタッフのチーム力が強化され、一つの目標に向かってまとまりが出来た。
- ・他職種との連携が強化され、施設に一体感が生まれた。

〈今後の課題〉

- ・様々なケアの質の向上。
- ・個別ケアの推進。
- ・利用者様に「ゆとり」を提供するためには、自分たちが「ゆとり」を感じなければならない。その為に、利用者様を取り巻く環境（環境には様々な要因があるが）の整備をさらに進めていかなければならない。
- ・より良い生活のための改革。を理解し、ゴールは利用者様の生活の質を高めることであると施設全スタッフが認識し、実践するようにしていかなければならない。
- ・認知症高齢者が施設で落ち着いて過ごせるようにしていく。